



2011年12月16日

株式会社 SIM-Drive
神奈川中央交通株式会社
京浜急行バス株式会社
JFE エンジニアリング株式会社
株式会社三菱総合研究所

電動低床大型フルフラットバスの試走評価を実施 ～「平成23年度環境省のチャレンジ25地域づくり事業」の一環として～

株式会社 SIM-Drive(神奈川県川崎市 代表取締役社長 清水 浩)は、「平成23年度環境省チャレンジ25地域づくり事業」の一環として、神奈川中央交通株式会社(神奈川県平塚市)、京浜急行バス株式会社(東京都港区)、JFE エンジニアリング株式会社(東京都千代田区)、株式会社三菱総合研究所(東京都千代田区)と共同で、電動低床フルフラットバス(以下「電動バス」)を、実際の営業バス路線と同じルートで試走・評価し、改良点・課題の把握、事業性・採算性・波及性等の検証等の事業を実施いたします。

検証にあたっては、バス事業者の観点から導入の経済性や運用性、運転者の操作性等を評価するとともに、公募モニターに試乗をしてもらい、利便性や快適性、安心感等の利用上の様々な評価を行います。この結果を総合的に捉えた上で、実用性・事業性・採算性の検証を行い、電動フルフラットバスの社会普及戦略を、技術面やバス事業者の営業面、利用者側の観点を交えて検討・構築します。

なお、本電動バスは、これまでのディーゼル車の駆動系をコンバートしたものとは異なり、まったく新しい概念にもとづく車両です。かつて慶應義塾大学で開発した電気自動車「Eliica」の概念を、バスに応用したものです。小径のタイヤ8個に1個ずつモーターを取り付け、バッテリーやインバーターを床下に格納する集積台車という技術の特徴としております。これにより、環境への配慮はもちろんのこと、低床かつバリアフリーを実現できました。

また、将来の中距離路線走行に向けた充電インフラを検証するため、本電動バスの充電には、JFE スーパーラピダスを使った超急速充電システムを採用していきます。

1. 本事業における各社の役割

本事業に関しまして、各社の役割は以下のとおりです。

SIM-Drive:	実施統括と走行時の燃費をはじめとした各種データの収集、車両の改修等
神奈川中央交通:	実証走行(湘南台駅 - 慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス間)
京浜急行バス:	実証走行(蒲田駅 - 羽田空港国際線ターミナル間)
JFE エンジニアリング:	電動バスの超急速充電システム
三菱総合研究所:	ユーザー、バス事業者からのデータ収集・効果検証等

2. 電動バス試走実験の概要

- (1)概要: 試作した電動バスの試走と評価を行います。電池の使用状況等の走行データの取得とともに、公募モニターへ試乗評価のための質問紙調査を実施いたします。さらにバス事業者の方々(運行担当や運転手等)へのヒヤリング調査も行います。
上記を統合的に分析して、電動バスの普及に向けた方向性を広く社会に提案してまいります。



今回試走する電動低床の大型フルフラットバスの外観

(2) 実験期間(予定):

路線:	郊外型路線の湘南台駅 —慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス間	都市型路線の蒲田駅東口 —羽田空港国際線ターミナル間
担当:	神奈川中央交通	京浜急行バス
実施日:	2011年12月18日(日), 20日(火), 22日(木), 26日(月), 2012年1月24日(火), 26日(木), 28日(土) の計7日間	2012年1月10日(火), 12日(木), 14日(土), 16日(月), 18日(水), 20日(金), 22日(日) の計7日間
本数:	3往復/日(1往復あたり約8km)で実施	2往復/日(1往復あたり約12km)で実施

3. 試走実験への参加をご希望のお客様へ

試走実験へのモニター参加をご希望の方は、下記の募集ホームページを参照の上、お申し込み下さい。応募資格は、18歳以上で、試乗前後にアンケートに協力いただける方とさせていただきます。応募資格と応募方法の詳細については、下記の募集ホームページでご確認ください。なお、定員を超えた場合にはお申込期間内であっても参加をお断りすることがあります。

モニター受付およびお問い合わせ等については、以下のホームページをご参照ください。

募集ホームページのURL: <http://www.mri.co.jp/evbus-monitor>

以 上

●本件に関するお問い合わせは下記にお願い致します。
JFE エンジニアリング株式会社 総務部 広報室